

いけだ たつや
池田 龍哉

池田工業株式会社
代表取締役

昭和45年7月生まれ。47歳。
平成3年函館工業高等専門学校卒業後(株)リクルートに入社。同9年実父・池田修氏経営の池田工業(株)入社。同18年、取締役、取締役専務を歴任後、同28年代表取締役就任。

機材・人材・研究を融合 塗装業のオンラインワンに

重防食塗装工法の ベストチョイスを可能に

当社は昭和55年にブラスト工法を主体とした重防食の施工会社として創業いたしました。重防食塗装とは鉄を腐食から守る塗装で、船舶・橋梁・プラントなどのインフラ構造物を守る為に用いられます。全国的に重防食塗装を業務としている企業は数多くありますが、通常はいくつかある工法のうち限られた工法に特化しています。当社は鉄構造

物の素地調整・剥離に重点を置き、そこで使用されるオープンブラスト工法、湿式ブラスト工法、回収式ブラスト工法、ウォータージェット工法、IH式RPR工法、パワーツール工法、剥離剤工法などさまざまな工法が一社でできるように技術者を育て、世界中から最新の機材を導入しています。現場環境は様々で物理的制約や腐食環境の違いなど、一律の補修手法では限界があり、現実とつじつまが合わなくなることが多く、苦勞してきました。現場でトライ

&エラーを繰り返すことで提案力を磨き、最善の工法を客先に提供し施工することを心掛けています。これらの工法を一社で提供可能な会社ということになると、日本国内では当社しかありません。それが当社の最大の強みなのです。

世界中から優れた機材導入技術者は新卒を育成

当社のアピールポイントである、さまざまな重防食塗装工法を可能にするためには、世界中から情報を収集し、セレクトした機材を導入するというのも重要ですが、その機材を使える技術者を育てるということも非常に重要です。一般的に目にしないようなニッチな機械もありますので、そもそも国内に経験者の絶対数が足りません。そこで、5年前から毎年新卒者を採用し、ゼロから技術者を育てるようにしています。新卒採用は少子高齢化が進む地元地域の活性化につながり、企業ができるもっとも重要な貢献と考えています。重防食技術はインフラと深く関連します。インフラ・イコール国力だと私は感じています。昨年カンボジア、アメリカ、ドイツなど数カ国を見てきましたが、発展途上国はもちろん、先進国を含めてどの国もインフラへの投資は増加しています。右肩下がりです。公共事業への投資額が



▲重防食塗装のかなめともいえる塗膜剥離・素地調整技術を世界中から取り入れ、修繕船、橋梁、トンネル工事などで現場に最適で安全な工法を提案。

減少しているのは日本だけです。見方によってはインフラの整備が遅れているから発展途上国であり、インフラの整備が整っているから先進国と言えると思います。当社はそんなインフラの整備や維持に寄与できる会社であり続けたいと願っています。その手段として、世界中から優れた機材を導入し、それを使える技術者を育て、研究活動も続けていきたいと考えています。

エコな新工法が高い評価 北海道の塗装業をリード

平成26年、著しい成長が認められる道内中小企業の支援を目的とした「北洋イノベーションファンド」

から2000万円の出資を受け、その翌年には「北洋銀行ものづくりテクノフェア」にも出展しました。内外でのネットワークを拓けることで情報や知識の共有を図ることができる機会があれば積極的に参加しています。また同年、地球環境への配慮が認められ、無担保社債「北洋エコボンド」が発行されました。塗料をはがすときに研削材などの産業廃棄物の発生を大幅に減少させる新工法を導入するなど、当社の事業が環境保護の観点からも評価されたのです。これからも地元で存続を許される、無くてはならない企業になれるように努力し続けたいと思っています。

池田工業株式会社 TSR 企業コード：06-006320-3

所在地 〒049-0156
北斗市中野通218番地3

TEL 0138-73-7666

URL <http://ikedakogyo.co.jp/>

設立 平成2年10月

従業員数 36名

売上高 6億円(平成29年8月期)